

殺ダニ剤

登録番号 第22034号

ダニサラバ[®]フロアブル

(シフルメトフェン水和剤)



- 有効成分 シフルメトフェン 20%
- 性状 類白色水和性粘稠懸濁液体
- 毒性 普通物
- 有効年限 3 年
- 包装 500ml×20本/ケース

[特 長]

1. 既存の殺ダニ剤と異なる新規骨格を有する殺ダニ剤です。
2. 既存剤に対して感受性の低下したハダニ類にも有効です。
3. ナミハダニ、カンザワハダニ等の *Tetranychus* 属、ミカンハダニ、リンゴハダニ等の *Panonychus* 属の両属に有効で、全ての発育ステージ（卵、幼虫、若虫、成虫）に対して活性を有し、特に若幼虫に対して優れた効果を示します。
4. 優れた残効性を示します。
5. ハダニの天敵であるカブリダニやその他の天敵、有用昆虫であるミツバチ、マメコバチ等に対して影響が小さくIPM（総合的病害虫管理）に適しています。

[適用害虫と使用方法]

作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	シフルメトフェン を含む農薬の 総使用回数
かんきつ	ミカンハダニ	1000~2000	200~1000ℓ /10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
りんご ぶどう びわ	ハダニ類	1000	200~700ℓ /10a				
ななしも ネクタリン おとうとう 小粒核果類* いちじく		1000~2000					
すいか メロン きゅうり いちご なす ピーマン やまのいも モロヘイヤ みょうが [†] (花穂)		1000	100~350ℓ /10a				

作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	シフルメトフェン を含む農薬の 総使用回数
みょうが(茎葉)	ハダニ類	1000	100~350ℓ /10a	みょうが (花穂) の収穫 前日まで、 ただし、 花穂を収 穫しない 場合にあ っては開 花期終了 まで	2回以内	散布	2回以内
食用ぎく とうがん				収穫3日 前まで			
茶	カンザワハダニ	1000~2000	200~400ℓ /10a	摘採7日 前まで			
花き類・観葉植物	ハダニ類	1000	100~350ℓ /10a	発生初期			

*小粒核果類に該当する作物：うめ、すもも（ブルー、プラムを含む）、あんず

【上手な使い方】

浸透移行性や浸透性（葉の表から裏へ薬剤が移行すること）、ガス効果は期待できません。従って、散布ムラがあると効果が不安定になることが想定されますので、ていねいに散布してください。また、茶、食用ぎく、とうがんで除いた果樹や果菜類で収穫前日まで使える「使い勝手のよい薬剤」です。

【使用上の注意】



1. 使用前には必ず容器を振り、使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
2. 植物体への浸透移行性がないので、かけ残しのないように葉の裏表に十分に散布してください。
3. ハダニ類は繁殖が早く、密度が高くなると防除が困難になるので、発生初期に散布ムラのないようにていねいに散布してください。
4. ハダニ類は薬剤抵抗性が発達し易いので、できるだけ年1回の散布とし、作用性の異なる他の薬剤と輪番で使用してください。
5. 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節してください。
6. ボルドー液との混用は避けてください。(またボルドー液との近接散布は14日以上間隔をあけてください。)
7. ぶどうに使用する場合、無袋栽培において果粉溶脱の恐れがあるため、果実肥大期（大豆粒大）以降の散布は避けてください。
8. 適用作物群に属する作物又はその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に被害の有無を十分確認してから使用してください。
9. 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
10. 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。

11. 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
12. かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

【貯蔵上の注意】

直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で子供の手の届かない場所に密栓して保管してください。